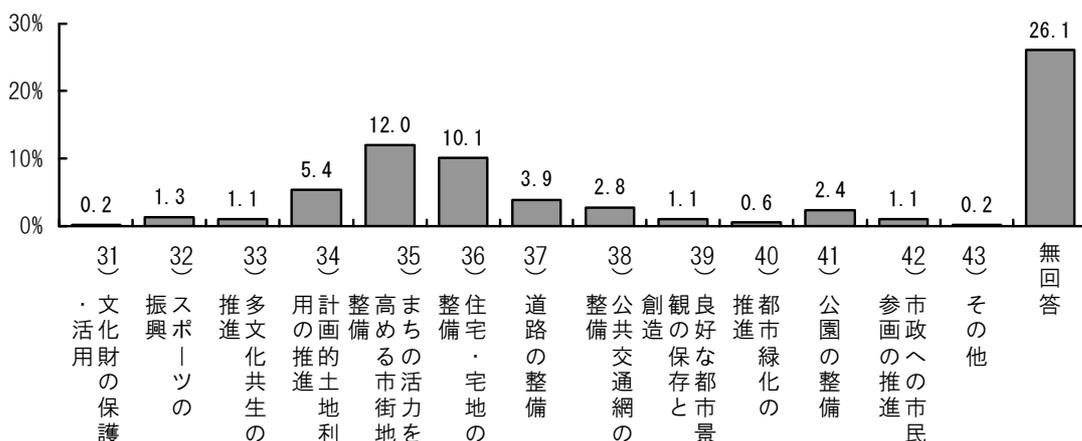
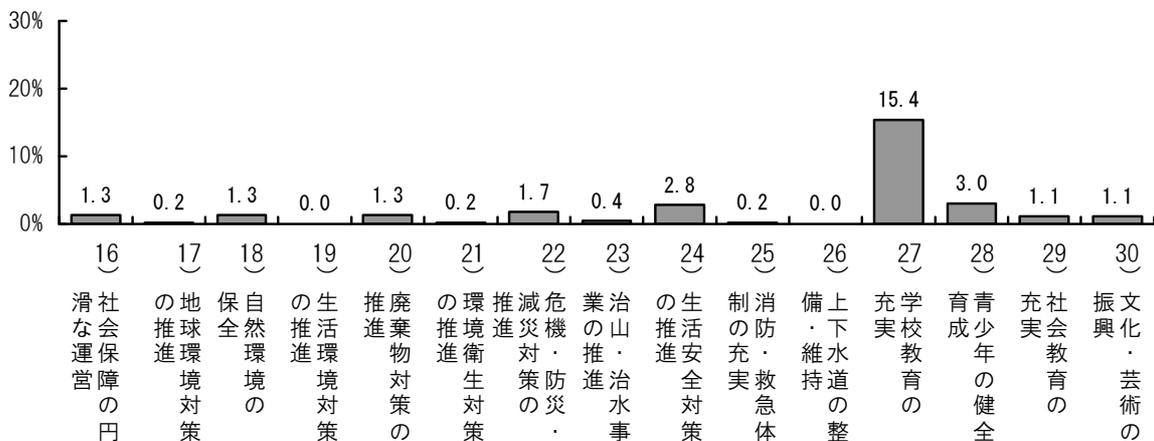
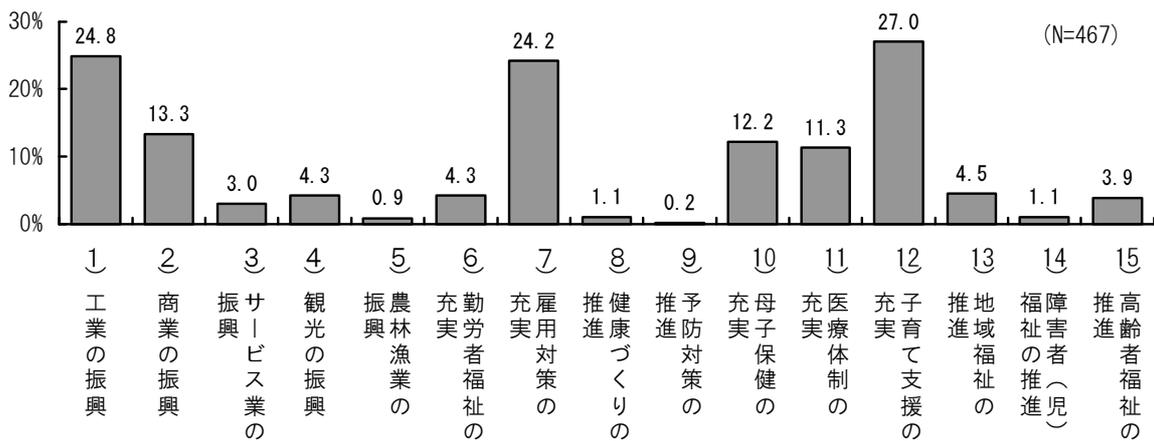


23 人口減少を食止めるために、力を入れて取り組むべきと考える施策（テーマ）

【問22】 問20において、岡谷市が人口減少を食止めるために、今後力を入れて取り組むべきと考える施策（テーマ）を3つ選んで、その番号をお答えください。

人口減少を食止めるために力を入れて取り組むべきと考える施策（テーマ）は、「12）子育て支援の充実」が27.0%と最も多く、次いで「1）工業の振興」が24.8%、「7）雇用対策の充実」が24.2%などとなっている。



## <その他、効果的であると考える対策についての意見・要望>

- 若い人が家を持ち、働き、安心して子どもが育てられる環境をつくる。
- 若い人の働く場を多くすることにより結婚するようになるのではないかと。男性も女性も独り身の人が多いので。
- 若者が働くことができれば人口減少は食い止められる。
- 育児休暇をしっかりと取ることができるよう、工業の発展。若い人たちの仕事がしっかりあるように。
- 企業誘致やテクノパークをつくり、雇用を創出する。青少年の健全教育およびスポーツ文化（冬スケート）のための施設整備および指導者育成やクラブの充実。
- 仕事があり、家を建てる土地があり子育て支援も充実している。生活環境が整うと住みやすくなると思う。
- 企業を増やすことで雇用が生まれ、人口増となる。企業に有利な条件（税金など）を検討してみればどうか。
- 私は東京都台東区に5年いたことがあるが、台東区は区の予算で「起業塾」を開催し、人材を育てていた（エプソン、電産、信大・松大教授ほかが講師で）。ITは、外資系企業の積極的な誘致。福祉は、ニチイ学館分譲（岡谷病院連携や高齢者雇用）上場を目指す。商業は、ほっともつとに対抗し、オカヤマザー弁当を全国展開させる。TPRにつぐ製造業の育成。
- 働く場所、住む場所、楽しむ場所が必要。
- 雇用の充実が一番。世界に対応できる子どもを育てられる教育。小学校は体力、中学は語学、高校は文化経済。
- 雇用の創成には仕事を引き込む力が必要。市場は世界に広がっているので売り込みの検索にはグローバルな情報活用が必須。これにより、将来への持続可能なビジネス循環を築き、安定をはかる。子どもたちの教育もコミュニケーションを取れる人を育てていく。
- まず働く場を多くすること。働く場があれば人は集まってくる。まちにもすべてのものに活気が生まれる。
- 働く場所の確保、教育の充実、生活する場所の確保が必要。
- 収入が安定する社会（市）をつくる。
- 働く職場の確保。
- 働く場所が少ない。お店が少なく買物に不便。観光地が近いのに観光客にアピールする所がない。
- 人口増加対策で、まず人口減少を食い止めなければいけない。商工業を活性化して働く場所を確保、市外から人が集ってくるようにしたいが難しい。高学歴化しているので工業系の人は専門性の学校をつくり、若い人がくるようなまちにしたい。
- 企業が地元から離れることを防ぐ。また逆に、企業に来てもらい働く場所を確保する。岡谷市ならではのものが何もないので見つけることで市の魅力アップ。人が集まる場所やイベント。
- 企業誘致。
- 若者に愛される岡谷市を。
- 諏訪地方にデパートがなくなり、松本まで出向かなければならない場合が多々あります。若者を引きつける魅力のある生活、文化など活性化される岡谷市ができるように。
- 若年層への補助と減税。

- 人口減少化は止められないと思う。減少してもその率を少なくすることは可能と思われる。そのキーワードは、高齢者と子どもではないか。高齢者がはつらつとして生きていける、子どもが安心して遊べる環境づくりが必要だと思う。
- 雇用対策でも子づくり・子育て世代の雇用対策と、それに関連する、例えば乳幼児を預かる場所の充実が必要ではないかと思う。
- 人口減少問題は岡谷市だけの問題ではなく、国全体のことと思う。しかし、子育てがしやすいと思えば出生率も上がるだろうし、保育や教育が安心して受けられれば若い人が住み続けてくれると思う。
- 共働きが増えているので。ベッドタウンなのに、福祉とか子育ては何もないと感じる。
- 小児科専門の医療機関が少ないと思う。子育てしやすいように、保育料をもっと下げるなどしてほしい。市内にデパートとまではいなくても、若者からお年寄りまで楽しめるショッピングモールをもっとあったらいいなと思う。
- 保育を中心とした子どもの教育事業。
- 女性と子どもに優しくないまちは、それまでのまちだと思う。これまで頑張ってきた高齢者を敬うことはもちろんですが、これからの未来を担っていくのは子ども、そして若い女性。その人たちが健康にこのまちに長く生きる（住み続ける）ことが大切では。
- 近頃、近所で子どもが遊んでいる姿が見られない。区の運動会も成立しないなど、大変に重要な問題である。医療の充実、住宅の斡旋など住みよい環境整備が必要である。
- 会社が他地区へ流出しないよう守ること。安心して子どもを生み育てられる環境をしっかりとつけてほしい。独身の子が親をみるという状況の家が見られる。近所で助け合えたらと思う。
- 工場の誘致、住宅の整備確保等、オリンパスほか、他町村へ移り、若者も数多く転出してしまっている。子育て支援の充実。下條村を参考に。
- 市外企業の誘致も重要ではあるが、市内企業、商工業の振興に力を入れてほしい。岡谷市は、他地区に誇ることでできる住みやすいまちであるのに、みなが誇りを失っている。既存のよい部分をアピールしてほしい。
- 企業の誘致。借地料、固定資産税ともに無料化。鶴峰公園のつつじ祭の有料化。
- 外に企業を出ないようにする。それには工場用地の斡旋が必要。住民税の軽減が必要。
- 大きな会社を市外に流出しないようにすることが人口減少につながるのではないかと思う。
- 産業がないために税金が高くなっている。産業を発達させ、人口を増やしていく方法を考えてほしい。
- 工場の減少。撤退・廃業の対策。
- 子育て支援の確立。
- 子育てがしやすい環境、遊べる場所などはあってとてもいいと思っている。医療での子どもにかかる費用は、都心などは無料だったり、最初から病院で支払いすらないシステムにもなっているので、全額とまでいなくても、もっと面倒でないシステムに考えられないものか。子どもにかかわらず医療の場所が深夜に関して少なすぎる。病院での対応も深夜となると悪く、不安を覚える。
- 住む宅地、働く場所、出産後の子どもをあずけて働ける施設が整っていることが必要と思われる。
- 子どもがふたりとも岡谷を離れて暮らしているが、いずれ帰ってくればと願っている。
- 子どもの医療費を無料にする。こどものくにへの年に一回の更新料を初回だけにする。

- 出産費用、不妊治療にお金がかかり、子どもが産めない。人口は多くなならない。もう少し補助してあげてもいいのではないか。
- 現在岡谷小学校が問題になっているが単に統合ではなく、低学年が遠くの学校に行かなくていいように、少人数学級、少人数学校があり、先生にゆとりのある何かユニークな学校づくりで他市、他県から注目され、転校してこられるほどの特色のある学校がほしい。
- 不妊治療の助成金などの充実。出産、育児に関わるあらゆる金銭的負担の軽減。
- 保育費は、二人目半減など、実際に暮らしてみても岡谷の子育て支援は茅野市に次いでいいと思った。半面、中学の部活などは親の出る場が多くなり、昔に比べて大変だと思う。
- 子育てをしている人たちの給料が少なすぎて困る。結婚できない青年や子を産めないこともある。
- 高校までの医療費ゼロ。高校までの教育費ゼロ。塾に通わなくてもいいように、学校で塾に行ったのと同じ結果になるような学校の運営。
- 家庭の教育力を高めるための施策。
- 場外馬券場の設置。
- すでにある公園を見直して、整備した方がいいと思う。
- いいまちだと思うが、食料品以外の買い物（外食含む）は、ほぼ全て違う市に行ってしまう。
- 施設の集合や複合施設など、ワンストップ型の地区がほしい。
- 諏訪地方へのベッドタウンを目指すのか、また再度ものづくりのまちを目指すのかの方向性の検討と同時に土地政策、住宅政策を進める必要がある。
- 買い物がしやすかったり、交通の便がよかったりするとうれしい。たくさんお店が増えてほしい。
- 人口減少について。地価が高い。商業地、商店、スーパーなどが他地区より貧弱。行列のできるような店がほとんどない。店主にお願い。どうしたら客が満足してきてくれるか味を研究すること。
- 湖南地区の宅地、道路の開拓。天竜川両側の交通。
- とりあえず駅前での発展。
- まちがつまらない。何かと市外へ出てしまう。レジャー、買い物、食事ほとんど。ドラッグストアやコンビニがありすぎる。似たようなものは吟味してなくす。生活するには特に不満はないが、やはり魅力がない、これに尽きる。
- 人口減少においては子育ての問題もあるのだろうが、それらを含めて、移り住んだり出て行く原因として、暮らしにくい不便さということがあると思う。上記のように寒い冬であり雪があって整備されていない不便さ、買い物も市街地を外れると何もない不便さなど、もっと便利になることを考えたほうがよいと思う。
- せめて3階建てのイオンモールなどを取り入れてほしい。専門店100店舗ほどのスケール。今の時代、ないほうがおかしい。県外からこちらへ来たが、何も無いのには逆に驚いた。
- 人口よりスーパーマーケットが増え過ぎて結局商業サービス業が衰退した。若い人口を増やすには岡谷市の場合、工業に力を一番入れて、若い人の流入を考えなければならない。そうすれば人口が自然に増えて、すべてのことがうまくいくと思う。
- 市街地に宅地がないのが困るところ。
- 岡谷駅前の活性化。学生の出入りの場所。また、社会人の出入りの場所。行政の告知板。学校行事などの案内等とする場所としてはどうか。
- 鳥居平やまびこ公園は廃止へ。税金のむだづかい。天下り先となっている。

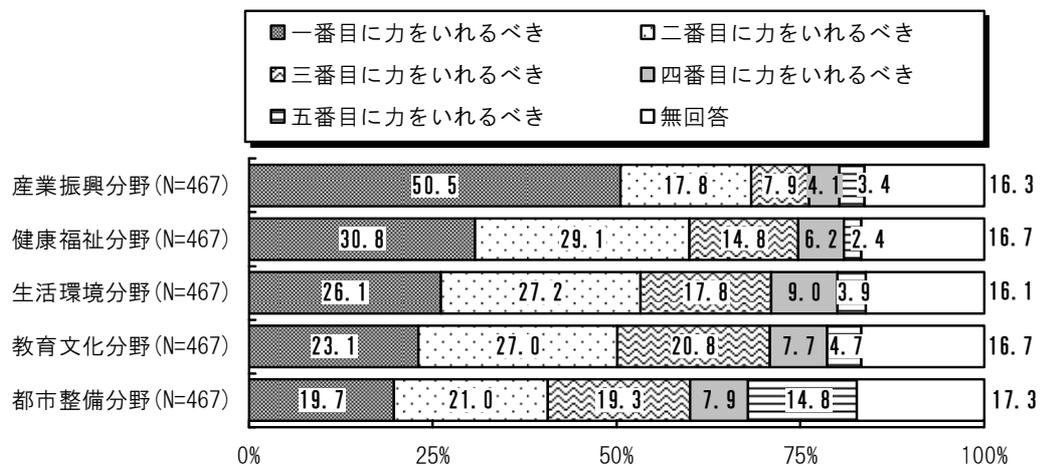
- 温泉など観光は望めないのか。小布施のようなまちづくり。
- 特効薬・即効策はないだろう。地道な取り組みによる。息子が出たまま帰ってこない理屈は、地元で希望する産業基盤がないことによる。「工業の振興」による「雇用対策の充実」の政策遂行が求められる。
- 「工業の振興」にも「商業の振興」にも働く所を増やして人口の減少を食い止める。
- 岡谷市に移住するための市民の紹介制度をつくり、市民の紹介をさせる。ほかの市町村から。
- 市役所職員の削減。市人口に合わせて行うべきと思う。市議員等も同じ。現行の方は多いと思う。
- スポーツや工業で岡谷を売っていければ少しは変わるかも。学校も選べないですから。私立はないし。
- 婚活情報、出会いの機会の支援。昼間人口（活動人口）の増加を目指す。コンパクトシティを目指す。現在の箱物建設計画などで、今後の市財政が心配。市町合併の検討、基礎づくり。
- 魅力あるまちづくりのため思い切った支援。例えば市独自の特別支援。
- 自然環境をよくして健康づくりに力を入れてほしい。
- 岡谷市の住民税が高く、引っ越す人が多い。駅前があまりにも暗く、観光などに力を入れてほしい。
- 市政のことはあまりわからないが、岡谷市の中心にあるところがにぎやかでないのはさびしい。お店がだめなら福祉の施設をつくったらどうか。
- 市にはもっと優秀な人材を採用して、知恵を出して行政に望んでほしい。
- できないことはテーマにあげないほうがよい。
- 冬期の除雪対策。道中の少ない道路対策。住み心地のよいまちにすることが必要。特に冬期は女性ドライバーにとって難所ばかり。
- 地面を抑制し、道路を歩きやすくし、人が住みやすいまちづくりを検討する。そのために都市の再開発も必要になるかもしれない。複合施設を中心とした都市づくりなどととも、エネルギーの集中管理。熱、電気、あるいは上下水道などを集中管理できる都市を目指す。
- これから超高齢者社会となる。高齢者福祉に限らず、高齢者を利用する（仕事など）方法を考えてもいいと考える。
- 郷土を愛する教育。
- 土地が高い。
- 住みやすいまち（道路の整備・仕事）があれば人が集まり、定住することになるのでは。
- 地域ぐるみ、組単位の助け合いの強化。
- 高福祉より費用の低減。税負担の軽減を図ってほしい。
- 産業の振興により人口を増やし、市政拡大とつなげるためには、住みよいまちづくりが大切。生活基盤の整備、子育て支援の充実、文化芸術の活発化などが重要になってくると思う。
- 「医療体制の充実」は、特別な設備か治療ができる病院になってほしい。
- 10年先の事業。10年後の人口は40,000人。財政はどうなるのか。プランの達成率は。

24 今後力を入れるべきと考える分野

【問23】 問20において、これから岡谷市のまちづくりで、今後力を入れるべきと考える分野の順位付けをする場合、どのようにお考えになりますか。分野ごとに、お考えになる順位に○をつけてください。(分野ごとに、○は1つ)

「一番目に力を入れるべき」分野は、“産業振興分野”が50.5%と最も多く、次いで“健康福祉分野”が30.8%、“生活環境分野”が26.1%などとなっている。

「二番目に力を入れるべき」分野は、“健康福祉分野”が29.1%と最も多く、次いで“生活環境分野”が27.2%、“教育文化分野”が27.0%などとなっている。



25 行財政運営にとって特に重要だと思うもの

【問24】岡谷市の行財政運営にとって、特に重要だと思うものはどれですか。（1つに○）

行財政運営にとって、特に重要だと思うものは、「多少サービスが低下しても、行政の事務や組織のスリム化を行う」が27.0%と最も多く、次いで「多少の負担増はやむをえないので、現状の行政サービスをできるだけ維持する」が26.3%、「サービスを受ける人が費用を負担する「受益者負担」の考え方を強くする」が20.3%などとなっている。

性別では、「多少サービスが低下しても、行政の事務や組織のスリム化を行う」が“男性”で多くなっている。

- 多少サービスが低下しても、行政の事務や組織のスリム化を行う
- サービスを受ける人が費用を負担する「受益者負担」の考え方を強くする
- ▨ 多少の負担増はやむをえないので、現状の行政サービスをできるだけ維持する
- ▩ 今より負担が高くなってもかまわないので、もっと質の高い行政サービスを提供する
- ▧ その他
- 無回答

